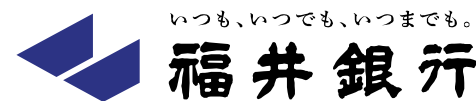


2023年3月期 決算発表

2023年5月12日(金)



1. 2023年3月期 決算概要

2. 中期経営計画 I の取組みと進捗状況

3. 2024年3月期 業績予想

1. | 2023年3月期 決算概要

2023年3月期決算サマリー

	Fプロジェクト 【連結】	福井銀行 【単体】	福邦銀行 【単体】
コア業務純益 (除く投信解約損益)		43.3億円 前年同期比 △1.1億円 ↓	2.6億円 前年同期比 +2.2億円 ↑
経常利益	7.8億円 前年同期比 +15.4億円 ↑	26.6億円 前年同期比 +20.8億円 ↑	△23.7億円 前年同期比 +0.7億円 ↑
当期純利益	親会社株主に帰属する当期純利益 18.0億円 前年同期比 △26.3億円 ↓	当期純利益 29.5億円 前年同期比 +24.6億円 ↑	当期純利益 △26.2億円 前年同期比 +7.5億円 ↑
概要	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 貸出金利息増加、グループ会社収益増加および与信関連費用減少により経常利益が増加 ✓ 前年度計上の負ののれん発生益46億円の影響により、当期純利益は反動減 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 貸出金利息の増加をはじめ経費の減少および前年度の引当積み増しの反動減により、経常利益、当期純利益ともに増益 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 中小・個人向けサービス増強によりコア業務純益が前年比増加 ✓ 有価証券売却等により、経常および当期純損失 ✓ 今後の財務基盤は安定

2ブランドでの
営業体制

機能統合による
コスト削減

有価証券運用と
与信関係費用の
一体管理

シナジー効果
の最大化

福井銀行【単体】

コア業務純益

(除く投信解約損益)

前年同期比

43.3 億円

△1.1 億円 

貸出金利息

前年同期比 **+6.2** 億円

- ✓ 地域のお客さまの課題を発見・解決(6頁)
- ✓ LBOや再エネ関連貸出の取組み

役務取引等利益

前年同期比 **△1.2** 億円

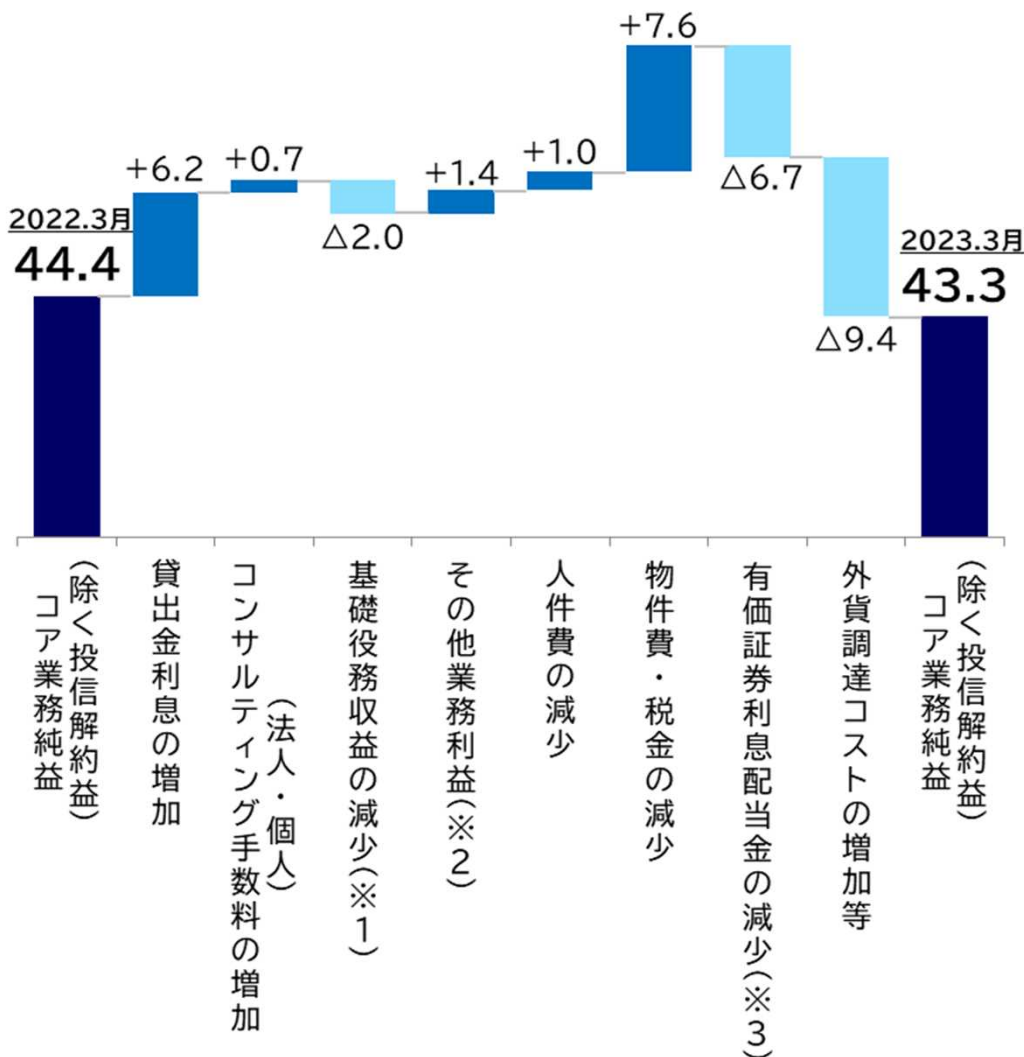
- ✓ SDGs・脱炭素に対するお客さま支援
- ✓ 住宅ローン手数料の減少および団信保険料増加を主因とする基礎役務収益の減少

経費

前年同期比 **△8.7** 億円

- ✓ 預金保険料の減額など個別要因の影響
- ✓ 店舗統廃合(BinB)等への取組み(20頁)

コア業務純益の増減要因



※1 為替手数料・預金および融資関連手数料・団信保険料・保証料等
 ※2 外為売買損益等
 ※3 投信解約益を除く

「2ブランド営業」 ビジネスモデルの構築

～庶民銀行への原点回帰～

地元中小零細企業への融資と本業支援、個人の生活支援において、福邦銀行の強みを最大限発揮し、グループ機能も活用した営業を展開



経営資源の選択と集中

- ✓ 本部機能統合と組織再編 ⇒ 業務効率化と人的資源創出
- ✓ 予防的引当て（積増し）実施 ⇒ 地元中小零細企業への積極支援
- ✓ 有価証券運用に依存しない体質づくり ⇒ 持続可能な体質へ構造改革

Fプロジェクトで福井の安定的・持続的发展に貢献！

福邦銀行【単体】

コア業務純益

(除く投信解約損益)

2.6億円

前年同期比

+2.2億円↑

貸出金利息

前年同期比 +1.6億円

- ✓ 福邦銀行の「強み」への経営資源の選択と集中(9頁)

役務取引等利益

前年同期比 +0.5億円

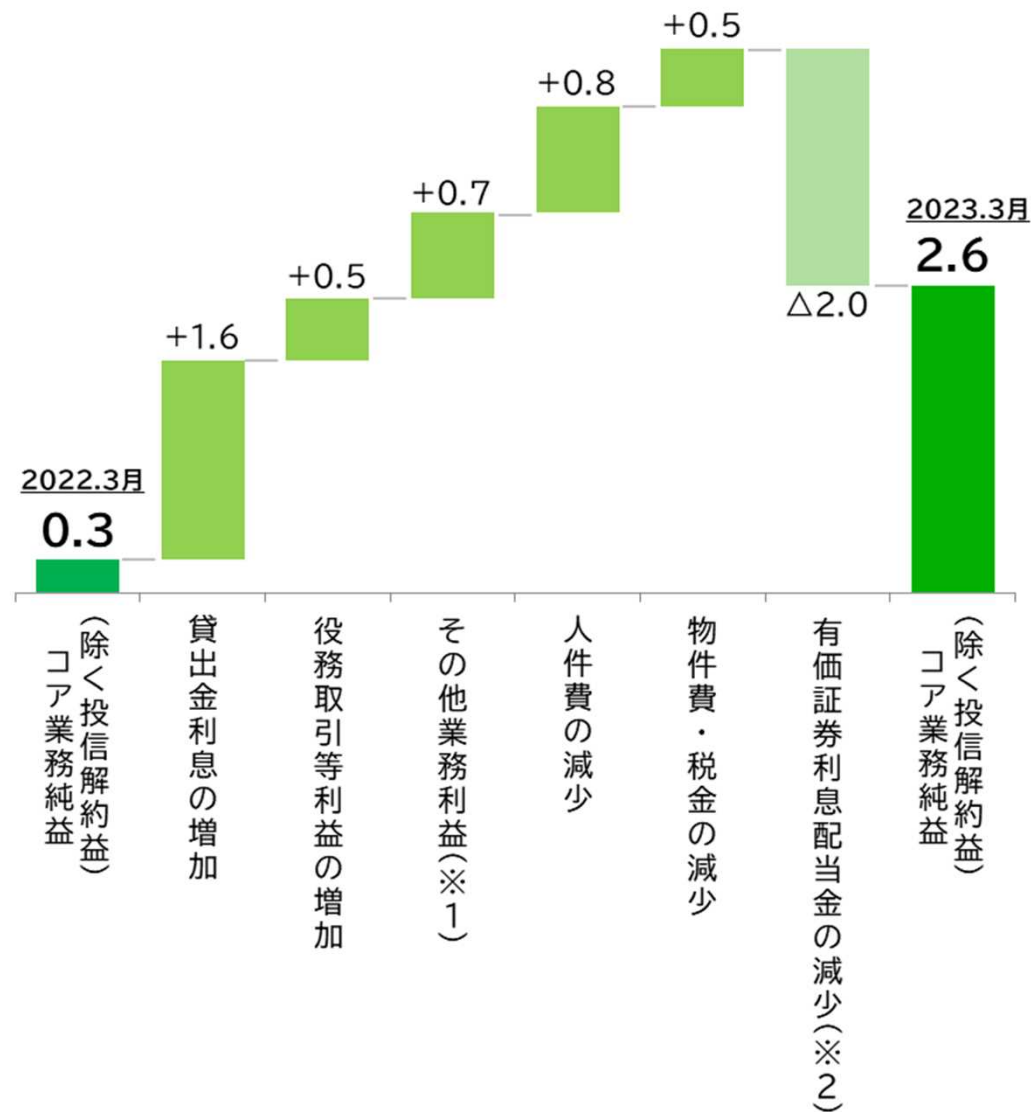
- ✓ 「本業支援の徹底」と「Fプロジェクト機能の活用」によるコンサルティング機能の深化・拡大(9・10頁)

経費

前年同期比 Δ 1.3億円

- ✓ 店舗統廃合(BinB)等への取組み(20頁)

コア業務純益の増減要因



※1 外為売買損益等
※2 投信解約益を除く

福邦銀行【単体】

貸出金残高(2023.3月末)

3,492 億円

前年同期比

+242 億円

中小企業等貸出金 前年同期比 **+190** 億円

✓ 中小企業・個人事業主の資金ニーズに積極的に対応

うち消費者ローン 前年同期比 **+2** 億円

✓ 非対面チャネルでの接点強化により、その他ローン残高が堅調に推移。

貸出金利回 前年同期比 **±0.00** ポイント

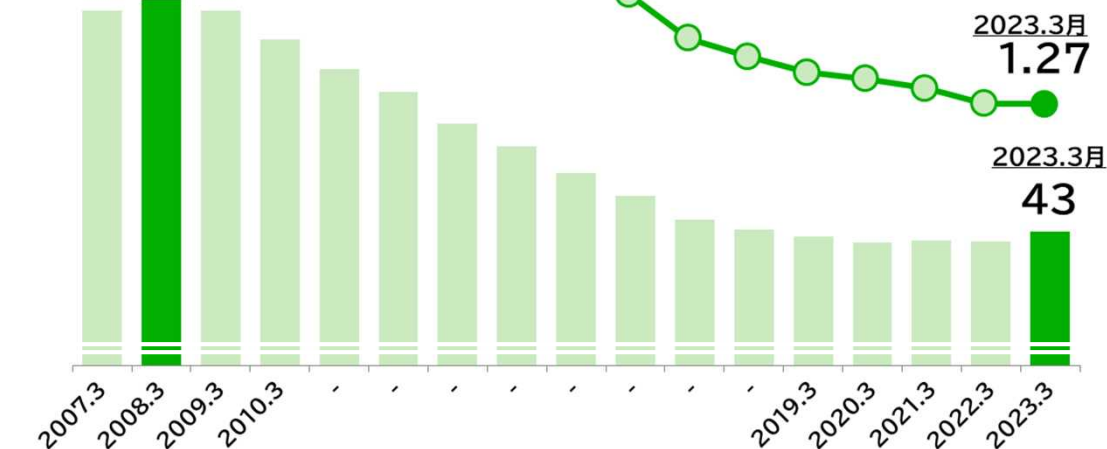
✓ 課題発見・解決を適切・スピーディーに実施「付加価値」としての対価(=金利)増強へ

貸出金利回

2008.3月
2.48

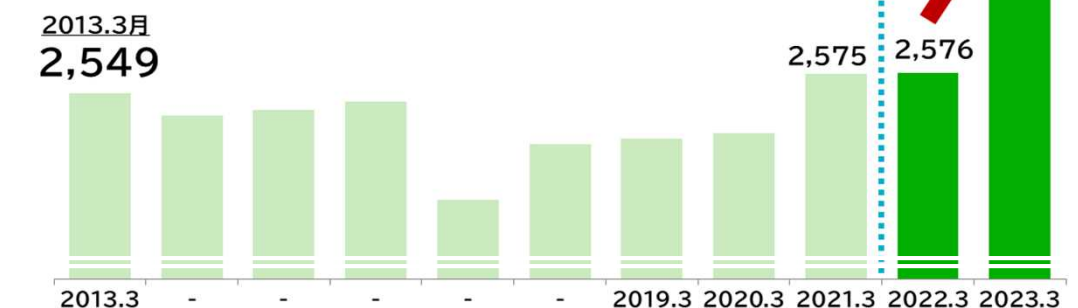
貸出金利息

(億円) 2008.3月
83



中小企業等貸出金残高

(億円)

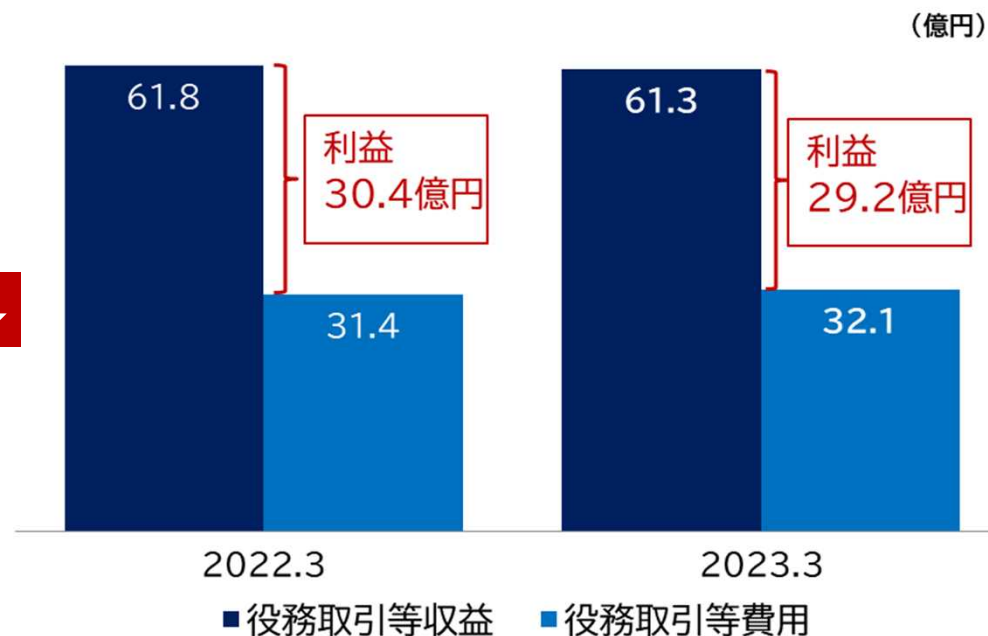


福井銀行【単体】

役務取引等収益 **29.2** 億円

前年同期比 **△1.2** 億円 ↓

- ✓ 為替(銀行間)手数料減額の影響により、受入為替手数料が減少(前年同期比▲1.3億円)
- ✓ 法人コンサルティング手数料は、グループ会社売上高合算で大きく増加(18頁)

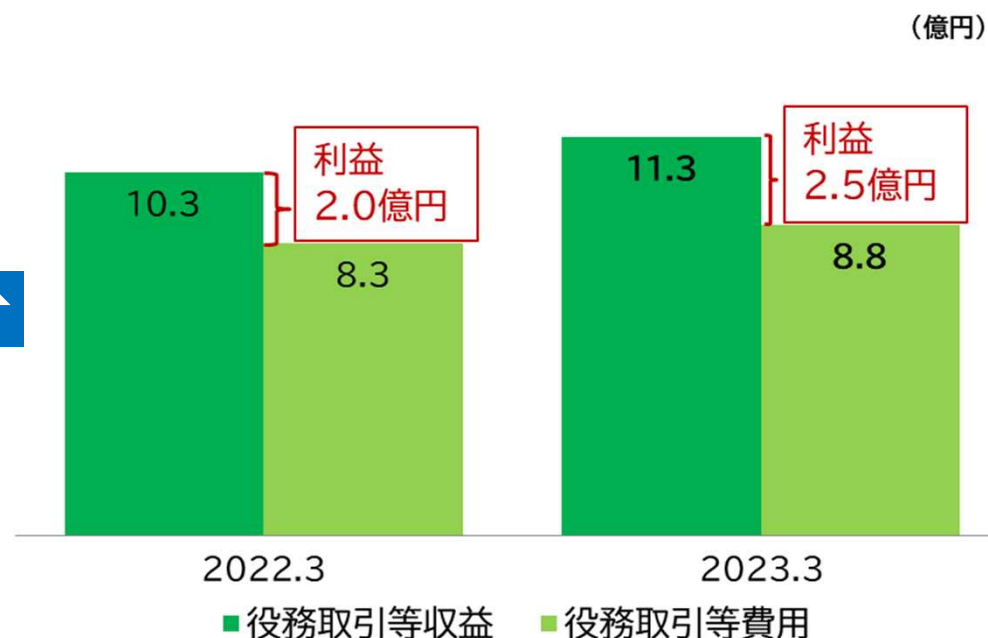


福邦銀行【単体】

役務取引等収益 **2.5** 億円

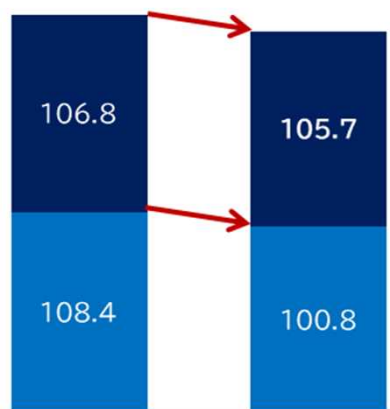
前年同期比 **+0.5** 億円 ↑

- ✓ 為替(銀行間)手数料減額の影響により、受入為替手数料が減少(前年同期比▲0.1億円)
- ✓ 法人コンサルティング手数料や不動産紹介手数料・プロジェクト融資手数料が増加



福井銀行【単体】

(億円)



2022.3 2023.3
■物件費・税金 ■人件費

人件費

105.7億円

前年同期比 ↓

△1.0億円

- ✓ グループ会社への人員シフトを進め減少(18頁)

物件費・税金

100.8億円

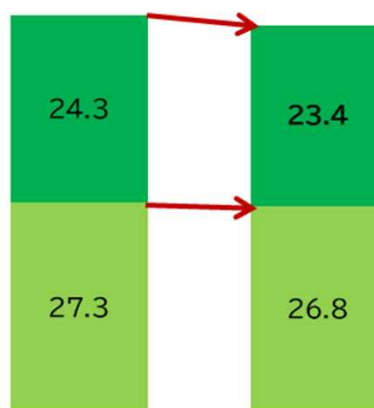
前年同期比 ↓

△7.6億円

- ✓ 預金保険料引下げ(▲3.6億)の他、個別案件の要因による減少

福邦銀行【単体】

(億円)



2022.3 2023.3
■物件費・税金 ■人件費

人件費

23.4億円

前年同期比 ↓

△0.8億円

- ✓ 人員数減少による人件費減少

↓
本部機能統合により人員減少をカバー

物件費・税金

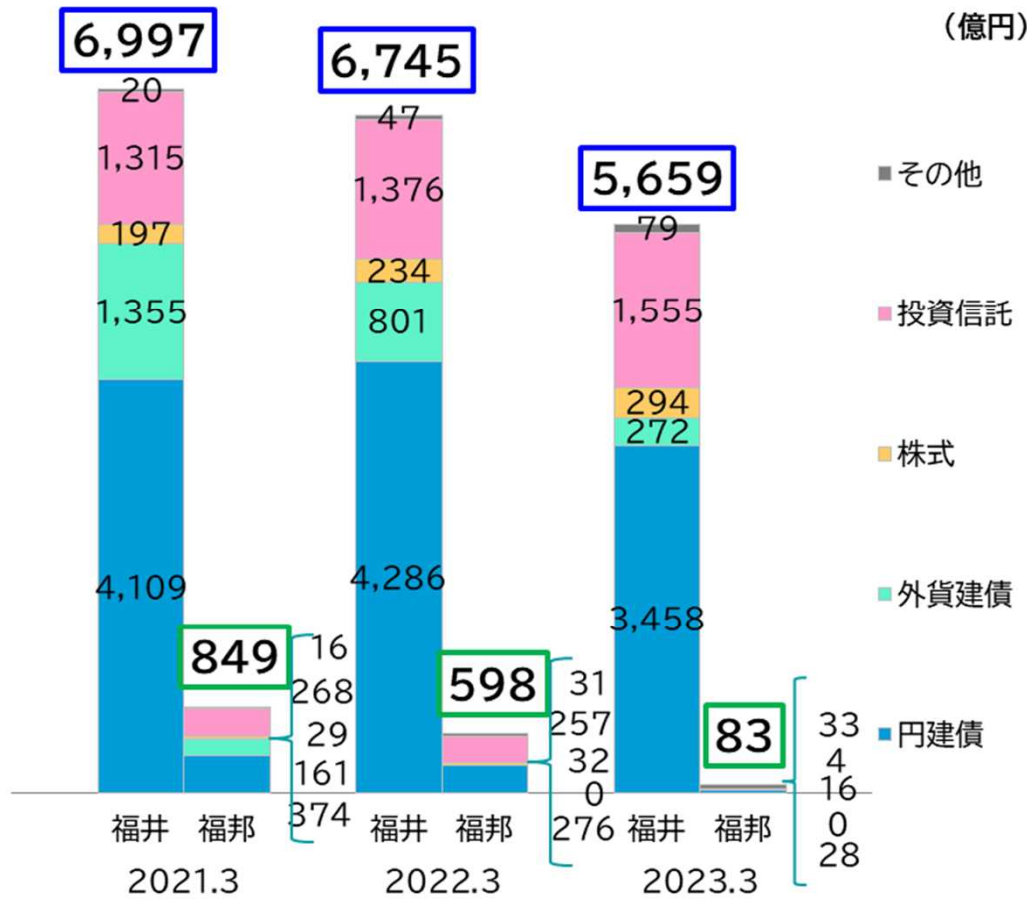
26.8億円

前年同期比 ↓

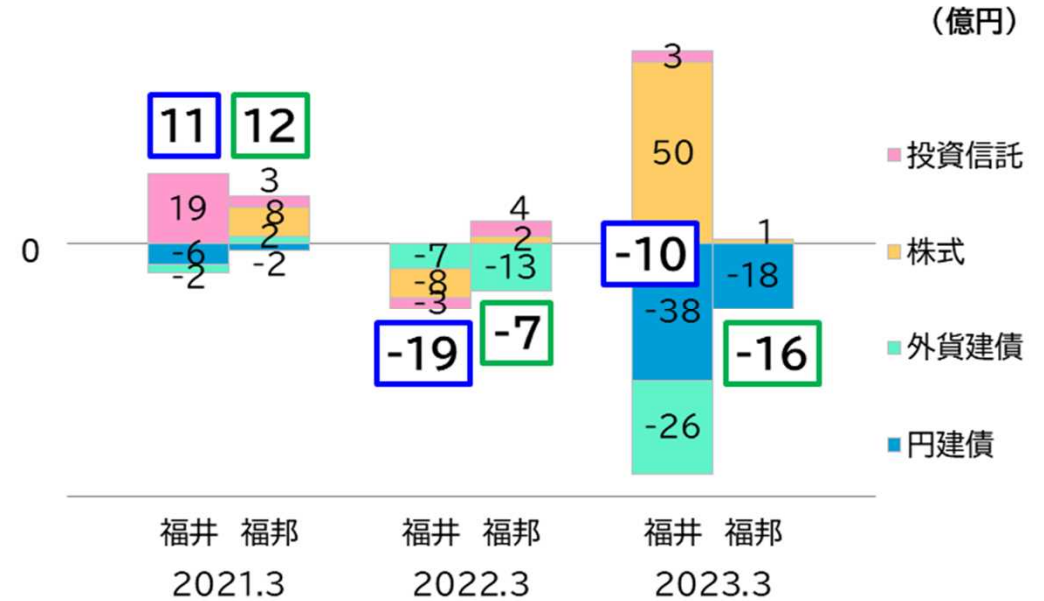
△0.5億円

有価証券残高

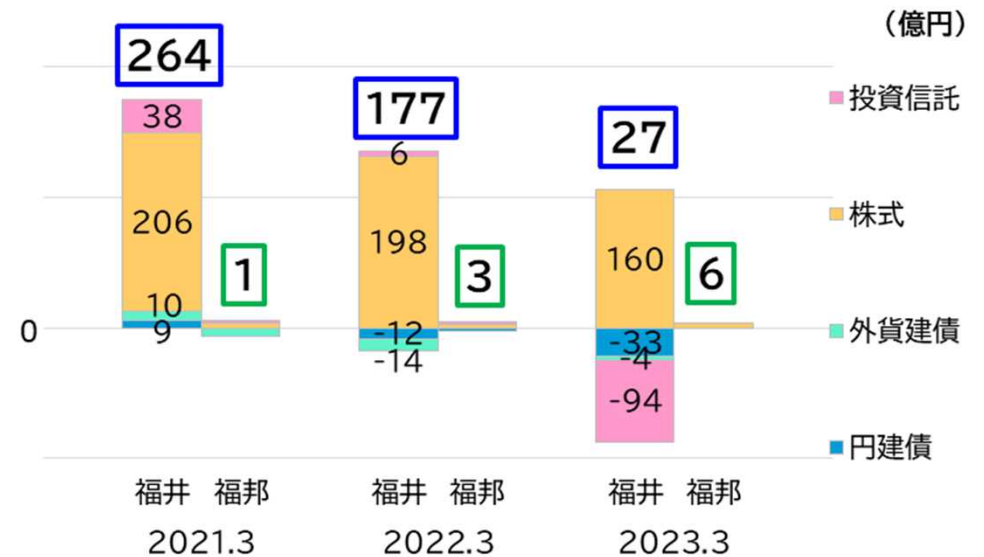
※簿価基準



有価証券売買・償還等損益 (投信解約損益含む)

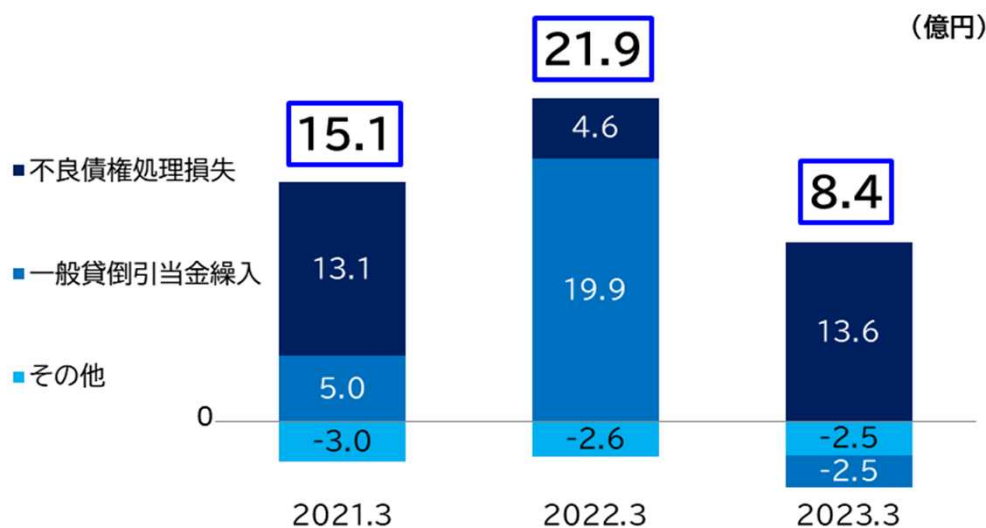


有価証券評価損益

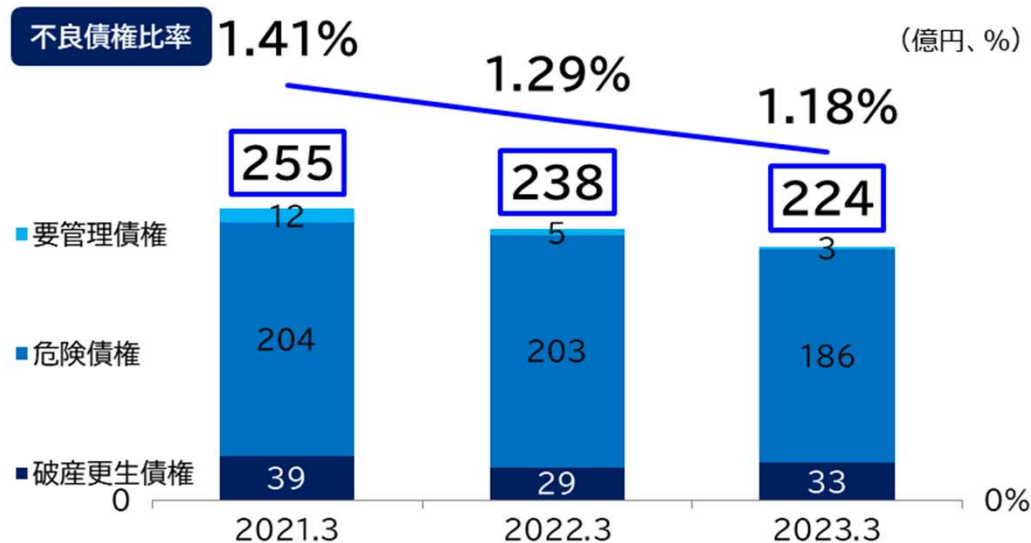


- ✓ 世界的な金利上昇を受け、福井・福邦ともに債券のロスカットを適宜実施
- ✓ Fプロジェクトの財務基盤強化および経営効率化の観点から、グループ全体の有価証券運用を福井銀行が担うため、福邦銀行における有価証券運用を縮小 (2023年9月末を目途に運用の一本化)

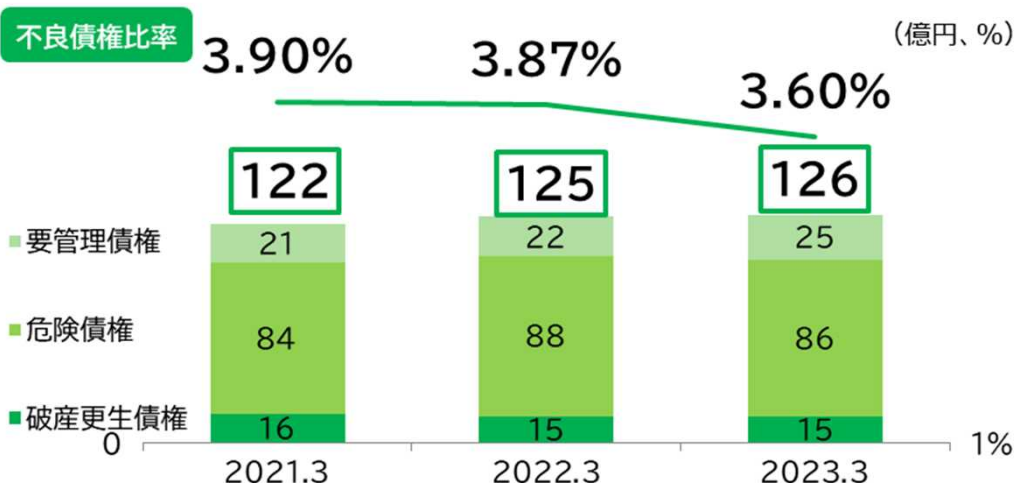
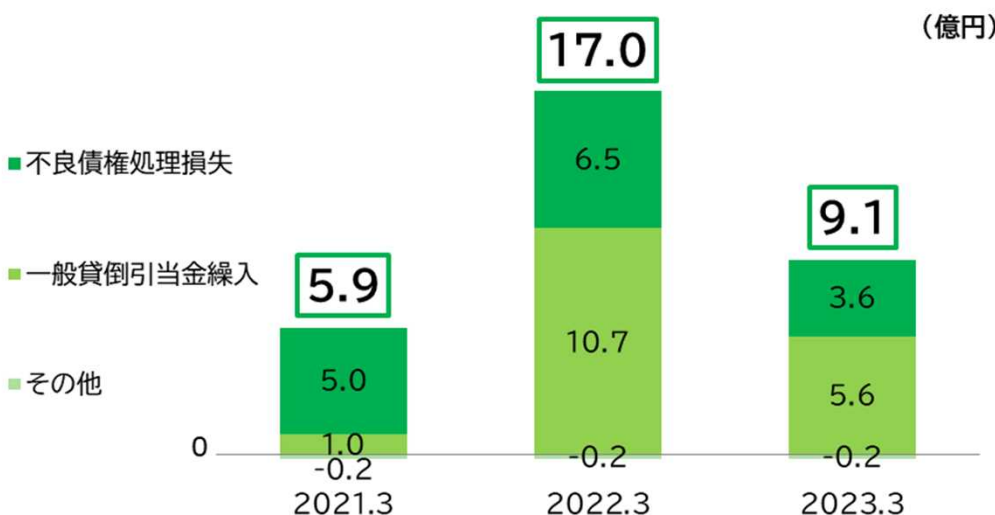
与信コストの推移



不良債権の状況



福邦銀行【単体】



✓ 与信コストの発生は当初計画の範囲内

目標経営指標の進捗

連結当期純利益(※)

2024年度目標 **40億円** 以上

2023年3月期実績

18.0億円

(目標比: $\Delta 22.0$ 億円)

※親会社株主に帰属する当期純利益

連結自己資本比率

2025年3月末目標 **7.0%** 以上

2023年3月期実績

7.59%

(目標比: $+0.59$ ポイント)

連結コアOHR

2024年度目標 **77.0%** 以下

2023年3月期実績

79.6%

(目標比: 2.6 ポイント未達)

連結ROE

2024年度目標 **3.0%** 以上

2023年3月期実績

1.4%

(目標比: $\Delta 1.6$ ポイント)

2. | 中期経営計画 I の 取組みと進捗状況

中期経営計画 I の位置づけ

Fプロジェクト
Vision 2032

私たちは 職員・お客さまの多様なチャレンジに伴走し
「地域価値循環モデル」を実現します

「Fプロジェクト Vision 2032」の第 I フェーズとして、
スタートダッシュを切る3年間と位置付けます。

ウェルビーイング戦術

役職員にウェルビーイングの考え方や取組みを浸透させる3年間とします。

コンサルティング戦術

地域・法人・個人のお客さまに、伴走型のコンサルティングを浸透させる3年間とします。

ユーザビリティ戦術

デジタル投資の加速と店舗・ATMの縮小により、ヒト×デジタルのハイブリッド体制をつくる3年間とします。

ファンダメンタル戦術

資金運用の多様化を進め、事業活動の原資となる資金運用収益の基盤を確立する3年間とします。

機能別戦術

経営資源のメリハリある配賦を実行し、上記3戦術が確実に実行される体制を構築します。



Fプロジェクト Vision 2032

2028.4 - 2032.3
中期経営計画Ⅲ

2025.4 - 2028.3
中期経営計画Ⅱ

2022.4 - 2025.3
中期経営計画Ⅰ

コンサルティング機能の強化

- ✓ グループ一体となった課題『発見』・『解決』機能の強化
 - トスアップ体制の強化
 - 新幹線延伸を見据えた、新会社の設立
- ✓ 野村証券との包括業務提携による総資産コンサルティングの強化

経営資源の選択と集中

- ✓ チャネルおよび本部機能統合によるコスト削減と人員の再配置
- ✓ 営業店事務の削減による営業活動時間の創出
- ✓ 有価証券運用のグループ一本化

ドメイン別の成果

◎ コンサルティングドメイン 成果が実り始めている

- 中小企業向け貸出残高の増加
- 貸出金利回りの上昇
- グループ会社売上高の増加

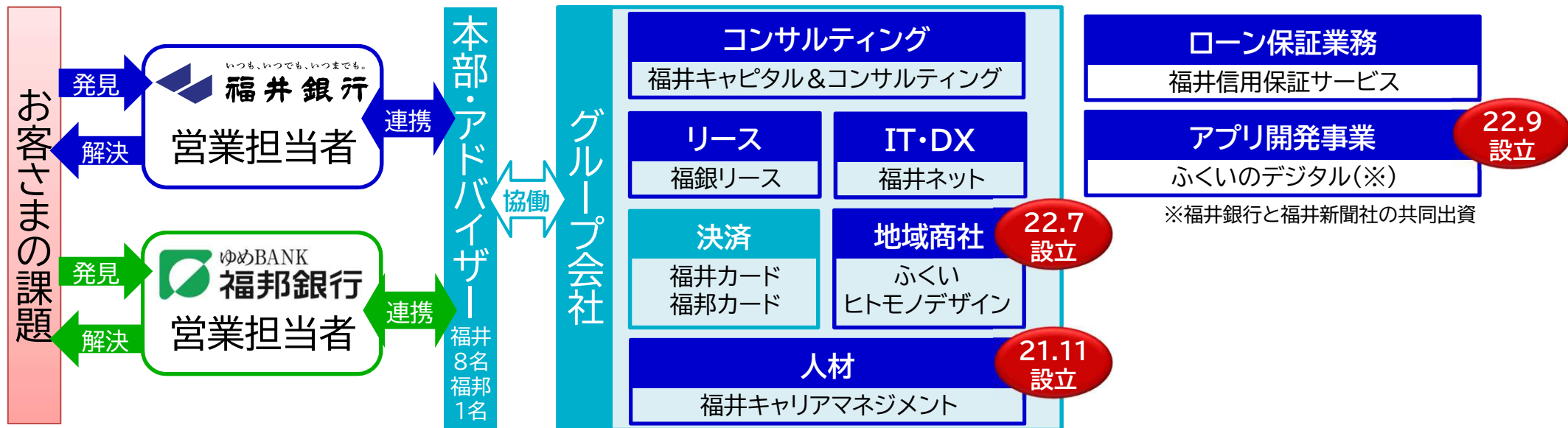
○ ユーザビリティドメイン コストコントロールの精度向上

- 適切な時期・範囲での先行投資を計画

△ ファンダメンタルドメイン 本業での強固な収益基盤づくりの 必要性を改めて認識

グループ一体となった 課題『発見』・『解決』機能の強化

- 本部に営業店をサポートする役割に特化したアドバイザーを配置。営業店担当者と連携してお客さまの課題を整理し、グループ全体で総合コンサルティング機能を発揮することにより「融資」×「コンサルティング」両面での解決策を提供。



中小企業向け貸出残高

中小企業向け貸出残高(※1)

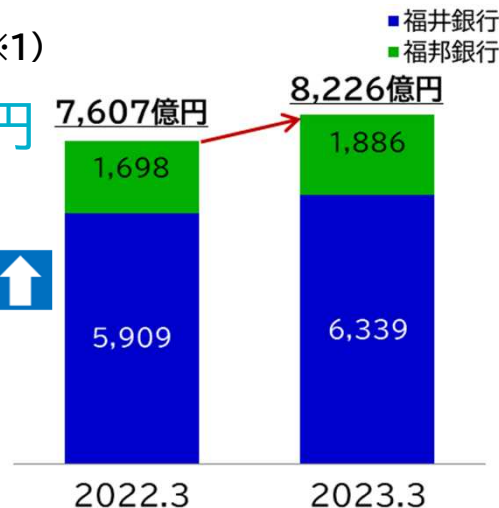
二行合算 **8,226億円**

前年同期比

+618億円 ↑

- 福邦銀行では、前年同期比 +11%と大きく増加

※1 福井銀行単体および福邦銀行単体合算
個人向け貸出を除く



法人コンサルティング収益・グループ会社売上高

法人コンサルティング収益(※2)

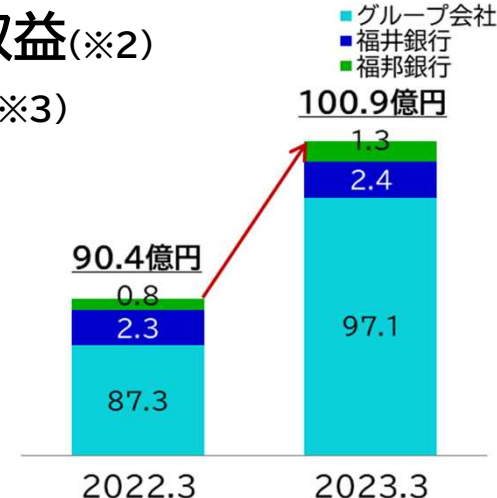
+グループ会社売上高(※3)

100.9億円

前年同期比

+10.5億円 ↑

※2 福井銀行単体および福邦銀行単体合算
※3 グループ間の業務委託料等を除く売上高
(福井信用保証サービスを除く)





**福井の未来に、
金融の力を。**

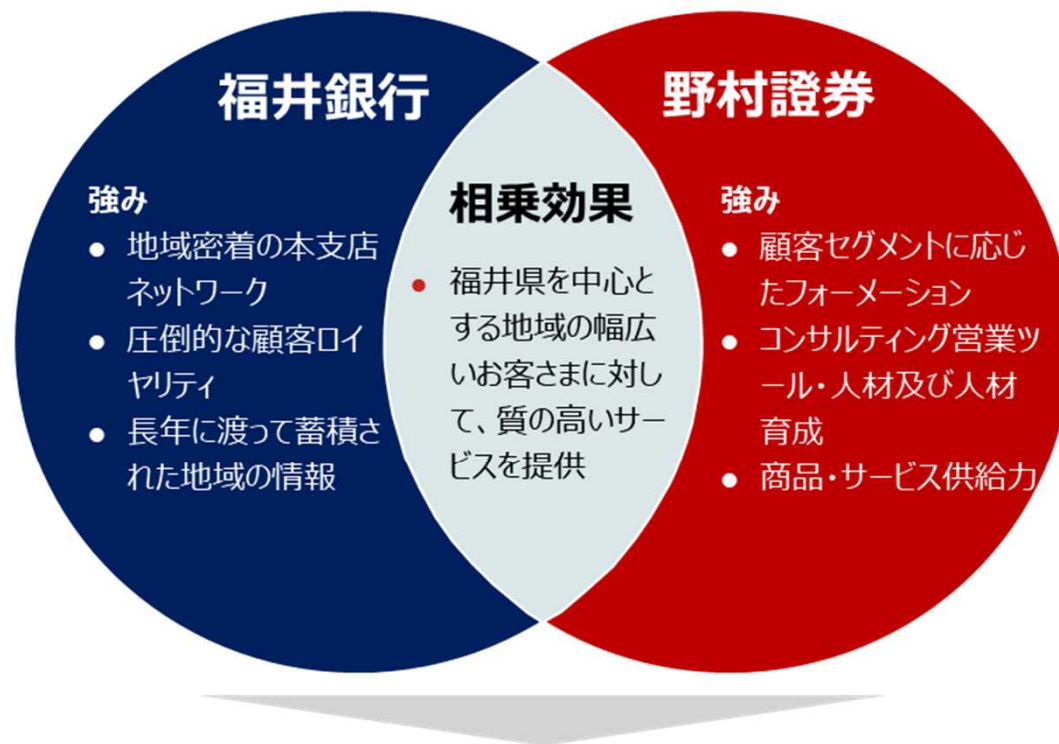
私たち「FUKUI x NOMURA alliance」は約束します。
ふたつが手を携えることで金融の力を高めることを。
そして、お客さまや地域の未来をともに創り出していくことを。
福井の未来に伴走する資産形成パートナーとして。

ふたつの力、よりそって未来へ。

START!



金融商品仲介業務における包括的業務提携



地域のお客さまの資産形成を支援し、お客さまの安定した生活に貢献

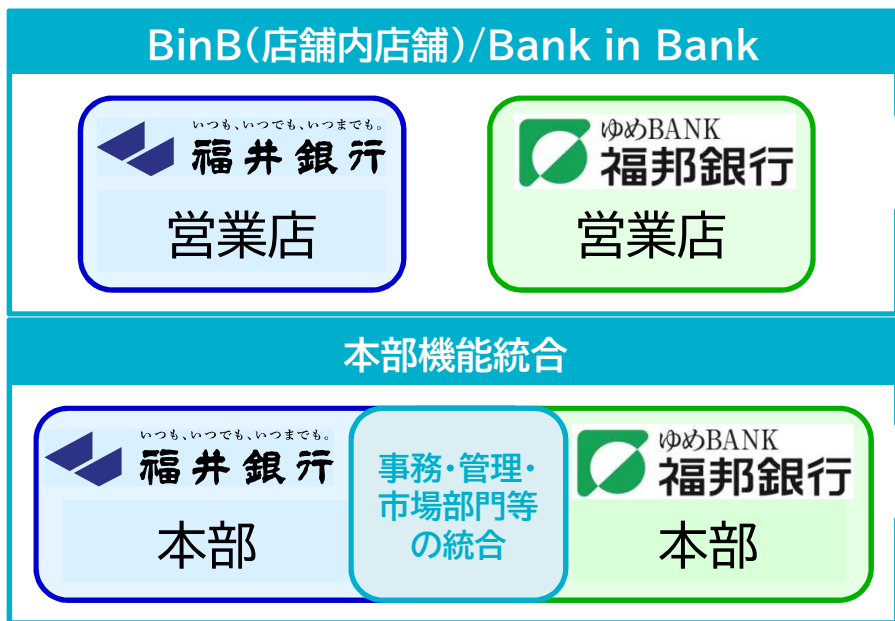
福井県を中心とした地域の持続的発展に貢献

コンサルティング機能の強化、サービスレベル・お客さま満足度の向上

- ✓ 2023年5月15日よりコンサルティングプラザ営業開始
- ✓ 両社合計の預り資産残高を3,600億円※から5,000億円(2028.3月期)へ拡大を目指す

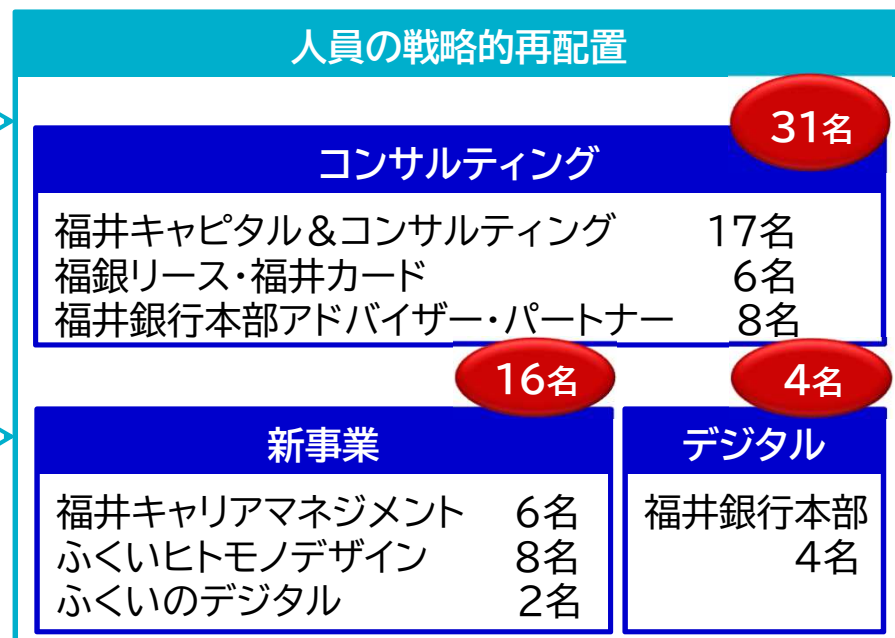
※2023年4月末時点の想定預り資産残高

チャネルおよび本部機能統合による コスト削減と人員の再配置

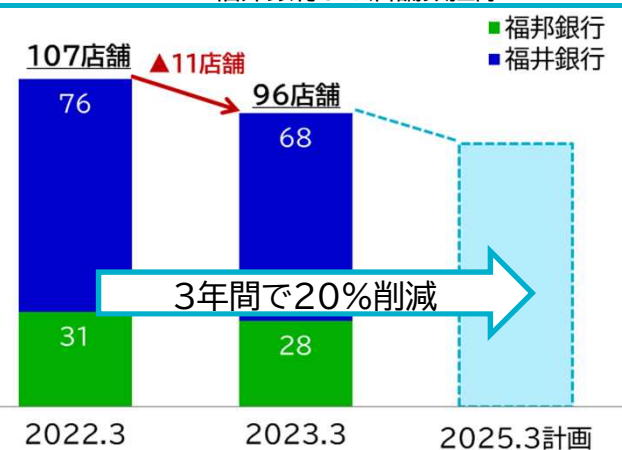


人員創出
27名

人員創出
75名

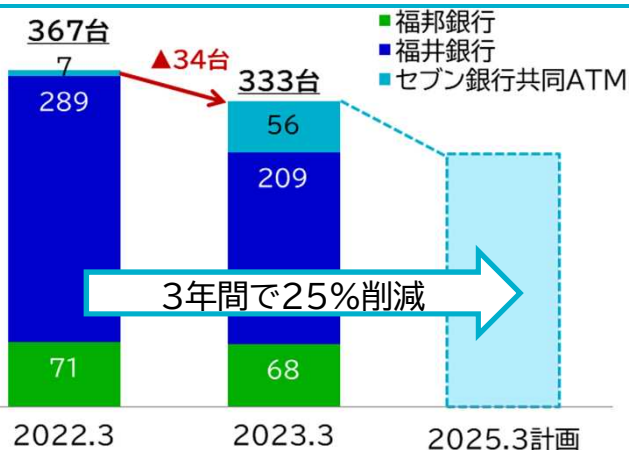


店舗数
※実店舗数
※BankinBank(小松支店)は福邦銀行より店舗数控除



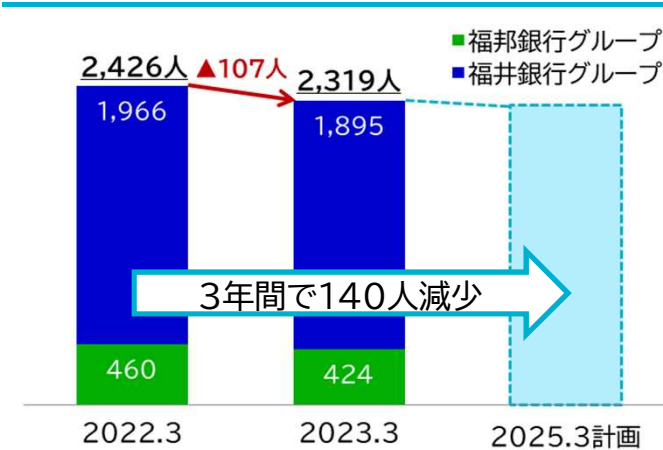
✓ 2022年度は、福井銀行8店舗、福邦銀行3店舗のBinB(店舗内店舗)を実施

ATM台数



✓ 店舗外ATMをセブン銀行共同ATMへ順次移行
✓ 2023年度より福井銀行・福邦銀行共同ATM(Fプロジェクト共同ATM)を順次稼働開始

人員数



✓ 自然減(定年退職等)により、3年間で140人減少を計画

店頭タブレット端末等の導入

福井

※2024年度稼働開始予定

- ✓ お客さま・行員双方の負担軽減と
窓口手続き時間の短縮
- ✓ 伝票レスによるペーパーレスの実現
- ✓ 勘定系専用端末削減によるコスト削減

非対面チャネルの機能充実

福井

福邦

- ✓ スマホアプリ「ふくぎんアプリ」・
「ふくほうPark」リニューアルによる、
非対面取引の利便性向上
- ✓ 無担保ローン全商品をWEBでの
手続き完結へリニューアル【福井】
※2023年5月16日サービス開始

窓口後方事務の本部集中

福井

福邦

- ✓ 諸届等の後方事務や電話対応
を順次本部へ集中

営業活動時間を増やす取組み (ミッション「ごじゅぱ」)

福井

- ✓ 法人営業・融資担当者の営業活動時間
を業務時間全体の50%に高めるため、
業務フローの改善を実行

3. | 2024年3月期 業績予想

2024年3月期 業績予想

中期経営計画 I 達成へのストーリー

2022年度 2023年度 2024年度

● コンサルティング機能の強化

● 経営資源の選択と集中

● 成長への先行投資

- ✓ 野村証券提携に伴う整備
- ✓ Fプロジェクト共同ATM稼働
- ✓ 店頭タブレット端末の導入
- ✓ グループウェアの統合

中期経営計画 I
達成

2024年3月期 業績予想

(億円)

	Fプロジェクト【連結】		福井銀行【単体】	
		2023.3比		2023.3比
業務粗利益	331.0	+79.2	252.0	+62.8
コア業務純益	-	-	24.0	△ 36.6
経常利益	27.0	+19.1	23.0	△ 3.6
当期純利益	15.0	△ 3.0	12.0	△ 17.5

※親会社に帰属する当期純利益

- ✓ 貸出金利息やコンサルティング手数料の増加により、業務粗利益は増収を予想
- ✓ 2023年度はコンサルティング機能の強化に向けたシステム投資を先行させるため、物件費が増加し、経常利益および当期純利益は減益を予想
- ✓ 当該投資は成長への先行投資であり、次年度以降は利益伸長を計画

- 事前に株式会社福井銀行の許可を得ることなく本資料を転写・複製し、または第三者に配布することを禁止します。
- 本資料は、情報の提供のみを目的として作成されたものであり、特定の証券の売買を勧誘するものではありません。また、本資料に記載された事項の全部または一部は、予告なく修正・変更されることがあります。
- 本資料には、将来の業績に関する記述が含まれておりますが、これらの記述は将来の業績を保証するものではなく、経営環境の変化等により、実際の数値と異なる可能性があることにご留意ください。

<本資料に関するお問い合わせ先>

株式会社福井銀行
経営管理グループ(担当:北出)
TEL:0776-25-8012